

〈研究成果の紹介〉

結実の良い赤紫色の欧州系ブドウ新品種「オリエンタルスター」

農業研究部伊賀農業研究室

1. 成果の内容

最近の我が国のブドウの栽培品種は、全国的には「巨峰」、「ピオーネ」など大粒系品種の占める割合が高くなっています。三重県伊賀地方では、大粒で果粒が鮮赤色で美しく、食味が優れる赤色系ぶどう品種「安芸クイーン（ブランド名：伊賀乙女）」を全国に先駆けて導入し特産化を図っています。

一方で、消費者のニーズは多様化の一途をたどり、それに応える販売形態も共選体制をはじめ産地直売、観光ブドウ狩りなど様々になり、消費者の嗜好とともに販売形態にマッチした特色のあるブドウ品種の開発が望まれています。

そのような中で伊賀農業研究室では、独立行政法人果樹研究所ブドウ・カキ研究部が育成したブドウ新系統の伊賀地域への適応性を検討してきました。その結果、有望と判定された安芸津24号が「オリエンタルスター」として品種登録される見込みになりましたので、その特性について紹介します。

「オリエンタルスター」は、「安芸津21号（スチューベン×マスカット オブ アレキサンドリア）」×「ルビーオクヤマ」の交配組み合わせにより育成、選抜された赤紫色の欧州系2倍体品種です。

「オリエンタルスター」の花穂整形は上位3～5段と先端部を切り、中央部の13～15段に結実させるのがよいと思われます。樹勢は強めですが花振いはほとんどなく結実は良好で、着粒は密になるため結実後は段抜きも含めた摘粒が必要です。適切に摘粒がなされれば裂果はほとんど見られません。

表 果実の特性比較（2002～2003年）

品 種	(試験場所)	平均収穫日	果房重 (g)	果粒重 (g)	糖 度 (%)	酸 度 (%)
オリエンタルスター	(伊賀)	9/ 8	503	8.2	19.4	0.19
オリエンタルスター	(全国 ¹)	9/16	362	8.2	19.3	0.42
巨 峰	(伊賀)	8/26	350	13.2	19.1	0.57
巨 峰	(全国 ²)	9/ 8	312	12.3	18.4	0.58

1 有核栽培を行う33場所の平均

2 有核栽培を行う25場所の平均

成熟期は「巨峰」よりやや遅く「ネオマスカット」とほぼ同じです。果粒の大きさは「巨峰」よりやや小さく短楕円形で、糖度が高く、酸はかなり低く、香気はありません。果肉は崩壊性で硬さは中程度、皮離れは「巨峰」と同等かやや劣ります。幅広い年齢層の人に好まれる食べやすい品種と思われます。

2. 技術の適用効果と適用範囲

三重県内のブドウ栽培地域で栽培が可能と思われますが、べと病、黒とう病に弱いため雨よけ栽培を行い、「巨峰」並の防除を徹底して行うことが必要と思われます。観光ぶどう園等で「巨峰」より晩生の品種として経営に組み込まれることが期待されます。

3. 普及・利用上の問題点

現在、品種登録出願中ですので、実際に苗木が供給されるまでにしばらく時間を要する見込みです。

(西川 豊)



オリエンタルスター